



Tom Dixon Milan Design Week 2023 Report “ CHOICE ” をテーマにミラノデザインウィークにて新作を発表



Photo : Allegra Martin

英国の上質なデザインブランド Tom Dixon（トム・ディクソン）は、2023年4月のミラノデザインウィーク期間中、9年ぶりに FIERA EUROLUCE にて 300㎡ のブースを使用し、新作照明の発表および家具のプレゼンテーションを実施しました。あわせてミラノ中心部のショールーム「THE MANZONI」でも新作の一部を発表しました。

今年、Tom Dixon が志向する方向性は「MORE = より多く」。昨日より、そして今日よりも、質的、量的な面で「MORE = より多く」、デザインの造詣が深い方々に「CHOICE = 選択肢」を提供します。今回の発表で、ランプやシャンデリアなどの照明器具、テーブルトップの素材感や家具の張地などに、多彩なカラーバリエーションや組み合わせを提案したことで、これまでよりも、個々の嗜好にマッチした空間づくりに役立ter ようになりました。

ブースデザインは、Amorim Cork Composites 社の 100% 天然コルクを使用し、ウォールパーティションを設置し、サステナブルな環境で新作をスタイリングしました。

また、ヨーロッパのテクノロジー企業 Universal Robots 社が誇るロボット技術と、Tom Dixon のデザインリサーチスタジオである Design Research Studio (DRS) がコラボレーションをしました。モジュール化した商品の構成パーツをロボットが組み替えるプレゼンテーションを実施し、無限のデザイン・バリエーションの可能性を披露しました。

Tom Dixon 新作発表実施概要（2会場で実施）

EXHIBITION “CHOICE”

Period : 4月18日（火） - 23日（日） Venue : Rho FIERA Euroluce / Pav 13 Stand 102

THE MANZONI (Tom Dixon ミラノショールーム)

Period : 4月18日（火） - 23日（日） Venue : Via Alessandro Manzoni 5

発表された新作ラインアップ



NEW CONE (ニューコーン) 日本展開時期：2023年10～11月頃
照明のラインアップのうち、28種類のシェードと組み合わせが可能なランプベース（台座）。組み合わせることで、無限のデザインバリエーションが可能になる画期的な新作です。トム・ディクソンは、新たなランプベースの設計を試みる中で、その集大成として、ベーシックな形状にたどり着きました。このミニマルで完璧に仕上げられたメタルコーンのランプベースは、ランプシェードからのさまざまな光の可能性を引き立てるのに最適かつエレガントな形状に仕上がっています。NEW CONEは汎用性の高いフィッティングで、MELT、MIRROR BALL、GLOBEのシェードと組合せて使用可能です。



NEW PUFF (ニューパフ) 日本展開時期：2023年9月頃
膨張する幾何学模様からインスパイアされた照明のコレクションで、30枚の金属パネルで構成される直径45cmの複雑な多面体が配列されています。平らな金属の菱形が組み合わさった形状が、まるで風船を膨らませたかのような丸みをおびながら、巧みに切り込みをがめることで生まれた柔らかい曲線を通し、美しい光が放たれます。



NEW PORTABLE (ニューポータブル) 日本展開時期：2023年7～8月頃
トム・ディクソンに、はじめて充電式のコンパクトなポータブルライトが登場しました。ラインアップはブランドの代表的なデザインとして親しまれている“MELT”、“BELL”、“STONE”の3種類で、屋内外で使用可能です。（防水仕様ではありません）



NEW UPHOLSTERY 日本展開時期：2023年5月～
トム・ディクソンの家具のアイコンであるFATとWINGBACKに、Kvadratの6種のテキスタイルコレクション全色から、好みに合わせて張り地を選べるようになりました。数百種から選択可能で、鮮やかな草木染めから贅沢なストレッチベルベットまで、あらゆる空間、インテリア、シーンにマッチする選択肢を提供します。

<テキスタイルラインアップ>

Divina Melange 3 / Gentle 2 Feblik / Hallingdal 65 / Hero 2 / Melange Nap / Elle Sahco

参考情報：Tom Dixon の歩み

- 2002 トム・ディクソンが自身の名を冠した会社を設立、第一弾として「ミラーボール」を発表
- 2003 デザインリサーチスタジオ（DRS）を設立
- 2004 1989年にトム・ディクソンがデザインし、カッペリーニ社が発売したSチェアが
ニューヨーク近代美術館に永久保存される
- 2005 BEATライト発表
- 2006 「Great Giveaway」のスタントの一環として、射出成型されたポリスチレン製の椅子500脚を
トラファルガー広場に納品、注目を集める
- 2007 ショーディッチ・ハウスのためにウィングバック・チェアをデザイン
- 2008 ロンドンのセンター・ポイント・タワーの最上階にある会員制クラブの内装を手掛ける
イベントスペース「パラマウント」の内装を手掛ける
- 2009 ロンドンのサマセットハウスにボンベイ・サファイア・ダスク・バーを手掛ける
- 2010 バハマに水中バイオロック生産工場を設立する
- 2011 ブランド初の店舗、オフィス、レストランを備えた「The Dock」をロンドン西部にオープン
- 2012 ミラノ・サローネでMOSTを発表
- 2013 自身のデザイン哲学をつづった「DIXONARY」を出版
アディダスとのコラボレーションをミラノ・サローネで発表
- 2014 ロンドンのSea Containers Hotelのリニューアルを手掛ける
- 2015 MELTライトを発表し、瞬く間にベストセラーとなる
同年、アジア最初の旗艦店TOM DIXON SHOPを東京にオープン
- 2016 ミラノ・サローネで、シーザーストーンとコラボレーションした「The Restaurant」発表
- 2017 パリのシャンゼリゼ通のレストラン「Le Drugstore」のデザインを手掛ける
- 2018 ロンドンのキングス・クロスにCoal Office*をオープン（*新たな旗艦店と本社オフィスを兼ね備えた施設）
- 2019 ロンドン・デザイン・フェスティバル・メダル・アワードを受賞
- 2020 北京に中国初の旗艦店をオープン
- 2021 エル・デコレーション・ブリティッシュ・デザイン・アワードを受賞
- 2022 ミラノ・サローネで20周年を祝うイベントを開催
- 2023 TOM DIXON TOKYOが東京南青山にオープン

プレスお問合せ先

Tom Dixon PR SUPPORT

HOW INC.

MAIL : pressrelease@how-pr.co.jp TEL : 03-5414-6405